

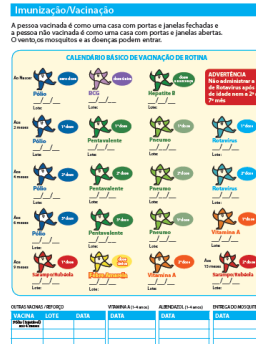
◆母子健康手帳には何がかいてあるの？◆

母子健康手帳は妊娠中や出産の記録、赤ちゃんが生まれてからの成長の記録や予防接種の記録が書かれています。アンゴラの手帳には、文字が読めない人たちにも配慮してイラストが多く使用されています。産前健診の重要性、妊娠中に注意すべきこと、妊娠期からの栄養摂取の重要性、マラリア、衛生、出産準備、6ヵ月までの完全母乳の重要性、補完食について等がイラストと共に説明されています。家族写真を貼る場所や生まれてくる子供へのメッセージを書くスペースもあります。成長曲線は5歳まで記入できるようになっていて、子どもの成長をグラフで確認することもできます。子どもの成長の記録と家族の愛が詰まった手帳です。子どもが大きくなったらその子へプレゼントすることを推奨しています。

プロジェクトで実施しているM&S（モニタリング&スーパービジョン）では、手帳が配布されているかだけでなく、適切に記入されているかを確認しています。



家族写真と子どもへのメッセージ



小児健診や予防接種の記録、5歳までの成長グラフが書けるようになっています。



◆ウアンボ州での活動◆

ウアンボ州では、国家公衆衛生局が、ウアンボ州保健局と共にM&Sを実施しています。ウアンボ州保健局スーパーバイザーのDr. Elizabeth CitendeとDr. Elizabeth SaulがWhatsAppの全体グループで活動状況を共有して下さっています。またウアンボ州ではPSI Angola（アンゴラ国際人口サービス）が母子健康手帳の導入研修を近日開始する予定です。この一連の導入研修が終わるとウアンボ州全体で母子健康手帳の配布が開始されます。

